

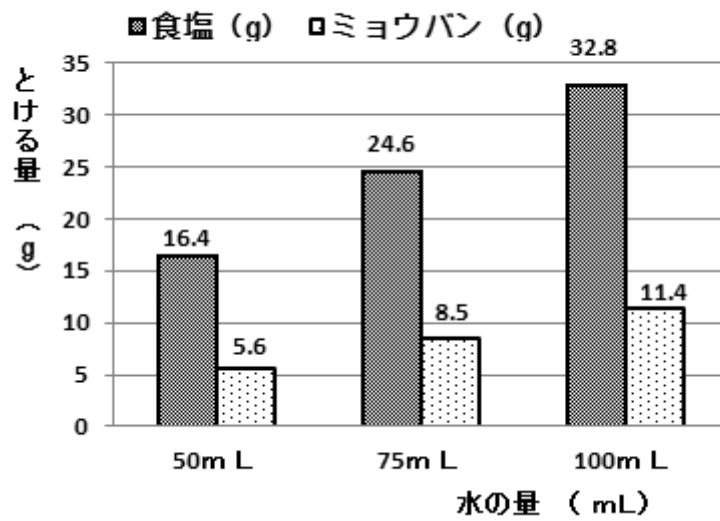
小問番号	採点基準
1 ー(1) 知識と事象を結び付ける力	A 5.1 B 7.9 C 10.5 1ー①完全正答
1 ー(2) 実験結果から分かることを流れる水のはたらきを関係づける力	Aの方が深い。 1ー② ※Aが深いことが分かれば正答。 ①の実験の結果より、CよりもAの方が川の流れる速いことが分かる。流れる速いと、けずる働きが大きくなり、より多くの石や砂がけずられていくので、Aの方が川底が深くなるから。 1ー③ ※①の実験結果からわかることとして、Aの流れが速いことかCの流れが遅いことのどちらかを述べている。 ※Aでは流れが速くなるので「けずる働き」「運ぶ働き」が大きくなること、「つもらせる働き」が小さくなることが分かる。 もしくは、 Cでは流れが遅くなるので「けずる働き」「運ぶ働き」が小さくなること、「つもらせる働き」が大きくなることが分かる。 <正答例> ・①の実験からAの流れが速いことが分かる。流れる速いと運ぶ働きが大きくなるので、川底の石がたくさん流されて、深くなるから。 ・①の実験からCの流れが遅いことが分かる。つもらせる働きが大きくなるので石や砂がCの川底にたくさんたまる。だからAの方が深くなる。 <誤答> ・けずる働きと運ぶ働きが大きいため。 (①の実験結果から分かることが述べられていない)
1 ー(3) 1 ー(4) 流れる水のはたらきの知識と防災を関係付ける力	ア 1ー④ ウ 1ー⑤ なぜ大雨のときに災害が起こりやすかったのか 川幅がせまく、急に曲がる流れの外側なので流れる速く、大雨で水の量が増えた時に、水があふれてしまうから。 1ー⑥ ※「川幅がせまいこと」「急に曲がる流れの外側であること」「流れが急であること」のいずれかが分かる記述がある。 ※大雨で水の量が増えることが分かる記述がある。 <正答例> ・川の流れる速いので、大雨で水の量が増えて川からあふれてしまうから。 <誤答> ・急に曲がる流れの外側だから。 (大雨で災害が起こる理由になっていない。) なぜ人工の川を作ることで災害を減らせたのか 流れる水の量が増えてしまった時に、あふれてしまっていた水を人工の

	<p>川の方に流せるようになったから。 1-⑦</p> <p>※あふれてしまう（多くなる・増える）水が人工の川を流れることが分かる。</p> <p><正答例></p> <ul style="list-style-type: none">・大雨で増えた水が、人工の川を通過して、海に流れるから。 <p><誤答></p> <ul style="list-style-type: none">・流れが変わるから。（あふれる水について書かれていない）
--	--

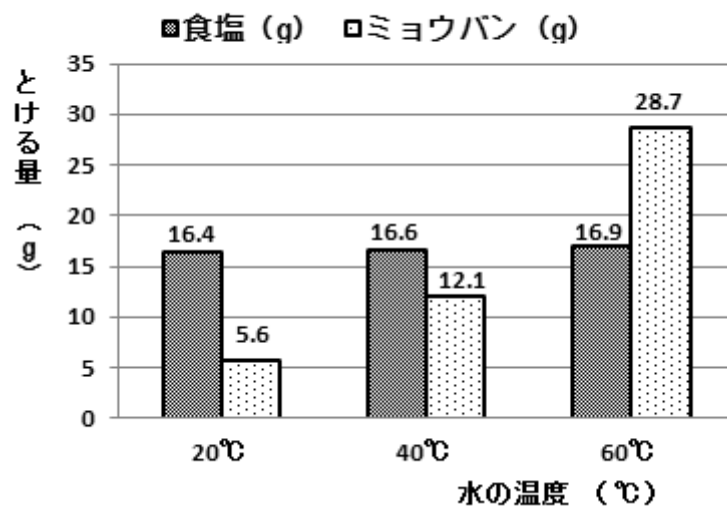
第6学年理科 2 【採点基準】

小問番号	採点基準
<p>2-1-1 ① 条件制御の理解</p>	<p>変える条件… 水の量 変えない条件… 水の温度 2-1</p> <p>※両方できて正答 <正答例> ・変える条件 … 水量 ・変えない条件… 水温, 水の温度ととかすもの, 水の量以外すべて</p>
<p>2-1-2 ② 条件制御の理解</p>	<p>変える条件… 水の温度 変えない条件… 水の量 2-2</p> <p>※両方できて正答 <正答例> ・変える条件 … 水温 ・変えない条件… 水量, 水の量ととかすもの, 水の温度以外すべて</p>
<p>2-2-1 ① 実験から分かる考察の記述</p>	<p>A 食塩もミョウバンも, 水の量をふやすと, とける量もふえる。 2-3</p> <p>※両方できて正答 ※水の量という言葉が入っていること ※一方が変わると, もう一方も変わることが分かればよい。 <正答例> ・食塩もミョウバンも, 水の量を変えると, とける量も変わる。</p>
<p>2-2-2 ② 実験から分かる考察の記述</p>	<p>B 食塩は, 水の温度を上げても, とける量はほとんど変わらないが, ミョウバンは, 水の温度が高くなるほど, とける量がふえる。 2-4</p> <p>※両方できて正答 ※水の量や水の温度(水温)という言葉が入っていること <正答例> ・食塩は, 水の温度を上げても, とける量はほとんど変わらないが, ミョウバンは, 水の温度が上がるほど, とける量が多くなる。</p>
<p>2-3-1 ① グラフの読み取りと数値を活用した説明</p>	<p>I 2-5</p> <p><誤答> ・I以外の記号も一緒に書いている。</p>
<p>2-3-1 ① グラフの読み取りと数値を活用した説明</p>	<p>20-12.1 2-6</p> <p><正答例> ・$20 - 12.1 = 7.9$</p>
<p>2-3-1 ① グラフの読み取りと数値を活用した説明</p>	<p>7.9 2-7</p> <p><誤答> ・7g (小数の値を書いていない。) ・8g (四捨五入している。)</p>
<p>2-3-2 ② グラフの数値を活用した考え</p>	<p>ミョウバンのとけている水(水よう液)を冷やして(さらに)温度を下げて, る過する。 2-8</p> <p>※両方の解答が書いてあってもよい。 ※この実験からは, 水の温度を下げたり水の量を減らしたりすると, ミョウバンのとける量が減り, 水にとけきれなくなり出てくることが分かるので, 解答はこの実験から推論できるものにする。 <正答例> ・ミョウバンのとけている水(水よう液)を冷やして(さらに)温度を下げる。 ・ミョウバンのとけている水(水よう液)を熱して水を蒸発させる。 <誤答> ・ミョウバンのとけている水(水よう液)にひもをたらしめて結晶を作る。</p>

A. 水の量ととける量との関係(水の温度20℃)



B. 水の温度ととける量との関係(水の量50mL)



3 「電磁石のはたらき」

小問番号	採点基準
<p>3-1)</p> <p>電流の強さ・コイルの巻き数と電磁石の強さの説明</p>	<p>あきよさん エ 3-①</p> <p>※採点基準の通り。</p>
	<p>あきよさんのそのようになる理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電池のつなぎ方が直列つなぎで、なおやさんの回路よりも電流の強さが強くなっているから。 ・コイルのまき数も増えているから。 3-② <p>※なおやさんの回路よりも「直列つなぎでかん電池 1 個分よりも電流の強さが強くなっていること」と「コイルのまき数が増えていること」の二点について記述していれば正答とする。</p> <p>※「直列つなぎ」を「直列回路」と記述していても正答とする。</p> <p>※「直列つなぎでかん電池 2 個分の電流の強さになっていること」と「コイルのまき数が 200 回であること」の両方についての記述があれば、正答とする。</p> <p>※「直列つなぎでかん電池 1 個分よりも電流の強さが強くなっていること」と「コイルのまき数が増えていること」のどちらか一方しか書いていない場合、誤答とする。</p> <p><正答例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・直列回路でかん電池 2 個分の電流の強さで、コイルのまき数も 200 回になっているから。 <p><誤答></p> <ul style="list-style-type: none"> ・直列つなぎだからです。 ・電流が強くなっているからです。 ・コイルの巻き数が増えているからです。 ・かん電池を 2 個使っていて、コイルの巻き数も増えているからです。
	<p>みのるさん ア 3-③</p> <p>※採点基準の通り。</p>
	<p>みのるさんのそのようになる理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なおやさんの回路と電流の強さが変わらないから。 ・コイルのまき数も同じだから。 3-④ <p>※なおやさんの回路と「電流の強さが同じこと」と「コイルの巻き数が同じ」ことについて、二点とも記述していれば正答とする。</p> <p>※「かん電池 1 個分の電流の強さになっていること」と「コイルのまき数が 100 回であること」の両方についての記述があれば、正答とする。</p> <p>※「電流の強さが同じこと」と「コイルのまき数が同じこと」のどちらか一方しか書いていない場合、誤答とする。</p> <p><正答例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・電流の強さも、コイルの巻き数もなおやさんと同じだからです。

<誤答>

- ・電流の強さが同じだからです。
- ・かん電池 1 個の回路だからです。
- ・コイルの巻き数がおやさんと同じだからです。
- ・かん電池を 1 個使っていて，コイルの巻き数が同じだからです。